

— 公文書館で平安文学十十メ読み! —

令和6年春の特別展

夢みる 光源氏



令和6年 3月16日(土) ▶ 5月12日(日)

入場無料
予約不要

開催時間：午前9時15分～午後5時

※4月8日(月)は休館

記録を守る、未来に活かす。

独立行政法人
国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 3-2
TEL：03-3214-0621

令和6年春の特別展では「夢」をテーマに、『源氏物語』やその注釈書を中心とした平安文学に関する資料を展示します。和歌や物語には、「夢」が神仏のお告げであったり、亡き人からの伝言であったり、不思議な力を持つものとして描かれています。それは当時の信仰・文化の一つであり、これらを読むことによって平安貴族の精神世界に迫ることができます。

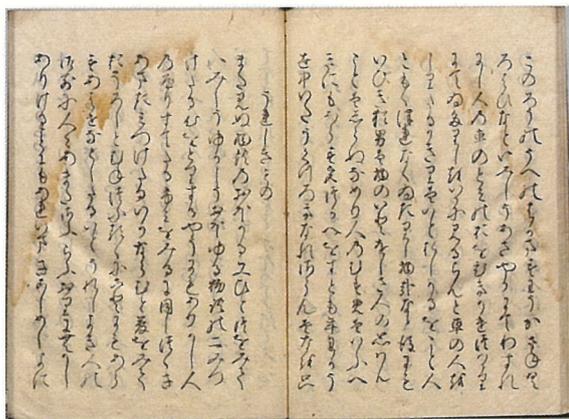
この機会にぜひ「夢」を通して「公文書館で平安文学ナナム読み」をお楽しみください。

令和6年春の特別展

夢みる光源氏

公文書館で平安文学ナナム読み！

まくらのそうし 枕草子



せいしょうなごん 清少納言が記した随筆。

平安貴族は「夢」で吉凶を占っていました。「うれしきもの」の章段には、「夢占い」に一喜一憂する様子が記されています。

展示資料は慶長年間(1596～1615)に刊行された古活字版(16世紀末～17世紀初めに活字で印刷した書物)で、紅葉山文庫旧蔵書です。

げんじものがたり 源氏物語

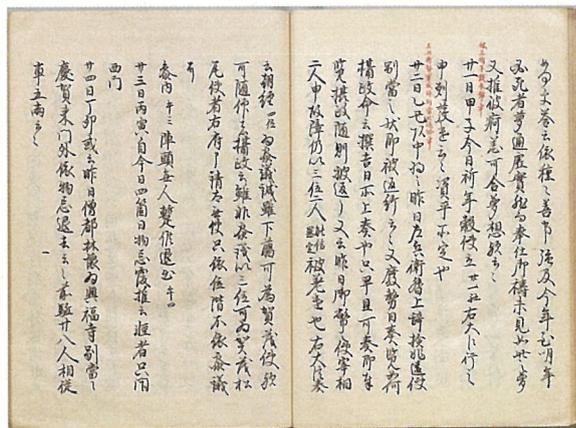


むらさきしきぶ 紫式部が著した長編物語。

「夕顔」の巻では、光源氏の「夢」に現れた女がやがて物の怪となって出現し、夕顔を取り殺してしまいます。

展示資料は承応3年(1654)に挿絵入りで出版されたもので、紅葉山文庫旧蔵書です。

しょうゆうき 小右記



ふじらのさねすけ 藤原実資の日記。

長和5年(1016)5月18日条には、藤原道長の死の「夢」を見た者が現れ、道長の死が噂されます。これを実資は「夢は虚実通うもの」と述べています。

展示資料は現存部分全ての記事が記載された写本です。貞享元年(1684)に書写されたもので、紅葉山文庫旧蔵書です。

